

令和元年度指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

〔 令和2年6月26日
商工労働局 〕

1 要旨

指定管理者制度を導入している商工労働局関係3施設について、令和元年度の管理運営状況を報告する。

2 導入施設

施設名	指定管理者
広島県立広島産業会館	公益財団法人ひろしま産業振興機構
広島県立ふくやま産業交流館	株式会社 オオケン
広島県立産業技術交流センター	公益財団法人ひろしま産業振興機構

3 施設の概要及び管理運営状況

別紙のとおり。

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12-18		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室), 会議室(1室), 控室等(13室), 駐車場(平日 389 台/土日祝日 456 台)等		
指定管理者	4 期目	H28. 4. 1~R3. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3 期目	H23. 4. 1~H28. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2 期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1 期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		4 期	R2	48.0%	—	—
R1			50.0%	51.3%	△3.3ポイント	1.3ポイント (102.6%)
H30			50.0%	54.6%	2.3ポイント	4.6ポイント (109.2%)
H29			51.0%	52.3%	△1.4ポイント	1.3ポイント (102.5%)
H28			50.0%	53.7%	6.9ポイント	3.7ポイント (107.4%)
3 期平均 H23~H27		45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント (104.0%)	
2 期平均 H20~H22		43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント (92.2%)	
1 期平均 H17~H19 H16 (導入前)		—	46.7% 41.0%	5.7ポイント —	— —	
増減理由	2月下旬からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用取消が相次いだことにより, 前年度を下回った。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	催事主催者アンケート	243 件回収 (352 件のうち回収率 69%)
	【主な意見】	【その対応状況】
	西館の机のキズが気になる。	机 (50 脚) を更新した。
	東館トイレが老朽化により使い勝手がよくない。	多機能トイレに対応するよう県により改修した。
	音響設備の対応で苦慮した。	貸出用ポータブルワイヤレスアンプを更新した。
(参考) 催事主催者満足度(アンケート回収率 69.0%) ① スタッフ対応 満足 84.8%(H30 83.5%) ② 施設・設備 満足 66.7%(H30 62.4%) ③ 開催目的の成果 満足 68.7%(H30 58.8%) ④ 今後の利用意向 したい 92.2%(H30 88.6%)	催事主催者アンケートの満足度については, いずれも前年度を上回った。	

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報 (必要随時)	○	必要時に, 随時電話 (及びメール) で報告
会議 (随時)	【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築 49 年, 西展示館は築 29 年と老朽化しており, 修繕の規模や目的, 性質により県との役割分担を明確にした上で対応する。		
現地調査 (随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し, 長期保全計画による修繕及び利用者ニーズを踏まえた設備等の改修を進めていく。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R1	—		—	料金 収入 (決算額)	4期	R1
H30			—	—	H30	338,617			△791
H29			—	—	H29	339,408			△17,421
H28			—	—	H28	356,829			43,212
3期平均 H23～H27		—	—	3期平均 H23～H27		313,617		57,552	
2期平均 H20～H22		—	—	2期平均 H20～H22		256,065		△43,297	
1期平均 H17～H19		—	—	1期平均 H17～H19		299,362		62,242	
H16 (導入前)		—	—	H16 (導入前)		237,120		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	—	—		
		料金収入	336,579	338,617	△2,038	利用料金制(※1) 2月下旬からの新型コロナウイルス感染症に伴う催事中止による減
		その他収入	2,694	2,259	435	
		計(A)	339,273	340,876	△1,603	
	支出	人件費	40,848	32,802	8,046	派遣職員から契約職員への切り替えによる増
		光熱水費	30,385	29,542	843	
		設備等保守点検費	7,642	7,737	△95	
		清掃・警備費等	67,736	71,712	△3,976	清掃業務等見直しによる減
		施設維持修繕費	41,357	31,948	9,409	本館ロビーリノベーションによる増
		事務局費	41,368	54,122	△12,754	委託業務縮減等による減
		その他	4,256	4,077	179	
	計(B)	233,592	231,940	1,652		
	収支①(A-B)		105,681	108,936	△3,255	
	自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0	
支出(D)		0	0	0		
収支②(C-D)		0	0	0		
合計収支(①+②)		105,681	108,936	△3,255	固定納付金 97,000千円 変動納付金 8,680千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
<p>施設の効用発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>施設のリノベーションとして本館ロビー内装リニューアルを行うとともに, 2階展示場扉, 階段廊下等の内装の更新, 老朽化した本館西側外階段の補修を行った。</p> <p>ゴールデンウィークにマスコミと連携して子供向けイベントを開催した。(4月27日～5月6日開催, 来場者 25,000名)</p> <p>県内ものづくり企業のイノベーション支援のため, 令和2年2月に「ひろしまAI・IoT進化型ロボット展示会」を開催し, 展示・商談の場を提供した。(出展 50企業・団体・機関, 来場者 3,500名)</p> <p>「広島 BOX～メイド・インひろしまギャラリー～」や「C-LOUNGE デザインギャラリー」において, 県内製品等の展示等を行うとともに, 新たにオープンした「メッセひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。</p> <p>「広島 BOX 企業と小学生の交流事業」において, 市内の5つの小学校(児童 366名)の校外学習(社会科見学)として, 食品製造企業4社による体験プログラムを通じて小学生の県内製品と企業に対する興味や関心を高めた。</p>	<p>利用者視点に立ったリニューアルを行うことにより, 満足度の向上及び利用促進に努めている。</p> <p>マスコミとの連携により集客率の高い催事を誘致する等, 利用促進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>県内企業のイノベーション推進を目的とした展示会, 常設展示を通じた新製品・新技術の発信, 地元小学校への学習機会の提供等, 自主企画を通じて県の産業振興に大きく寄与している。</p>
<p>管理の人的物的基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正化 	<p>本館ロビー内装の更新等施設のリノベーションを図りつつ, 変動納付金の確保に努めた。</p> <p>令和2年1月から, 中国電力との業務量電力契約の見直しを行い電気料金の縮減を図った。</p>	<p>固定経費の縮減により効率的な業務運営が図られ, 変動納付金を確保できている。</p>
<p>総括</p>	<p>令和元年度展示場延利用床面積は 1,015,190 m²で面積稼働率は 51.27%と目標の 50%を達成した。</p> <p>令和2年度の閑散期(お盆)における催事誘致を実現した。</p>	<p>2～3月は, 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用取消が多くあったにもかかわらず, 閑散期に催事を開催していたことなどから, 目標としていた面積稼働率を上回る実績を達成できた。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	<p>○ 令和2年度は開館50周年を迎える年度であることから、その記念となる自主企画事業を実施する。</p> <p>○ なお、令和2年2月下旬から新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用取消が相次いでおり、施設管理者として、新型コロナウイルス感染症に係る国・県の対応方針に的確に対応するとともに、収支予測を堅実にを行い、事業の優先順位を付けて実行する。</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、指定管理者と県とで連携し、拡大防止に向けた適切な運営を行っていく。</p> <p>○ 終息後は、県内産業の早期回復に向けて、産業会館の役割を果たすべく、県内製品の販路開拓・拡大の機会を積極的に提供していく。</p>
中期的な対応	<p>○ 施設のリノベーションに当たっては、東展示館・本館・西展示館全体の「リノベーションマスタープラン」(H27年度策定)に基づき、県が実施する大規模修繕工事と役割分担を図りながら計画的に推進する。</p>	<p>○ 指定管理者との連携により、計画的かつ効果的な修繕を実施していく。</p>

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立ふくやま産業交流館		
所在地	福山市御幸町上岩成正戸476-5		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	大展示室(4室), 小展示室(2室), 研修室(1室), 会議室等(6室), 駐車場(876台)等		
指定管理者	4期目	H28.4.1~R3.3.31	株式会社オオケン
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	株式会社オオケン
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	福山商工会議所
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	福山商工会議所

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
利用状況	4期	R2	30.5%	—	—	
		R1	27.5%	23.3%	△3.0ポイント	△4.2ポイント (84.7%)
		H30	29.5%	26.3%	△1.2ポイント	△3.2ポイント (89.2%)
		H29	28.5%	27.5%	△2.1ポイント	△1.0ポイント (96.5%)
		H28	30.5%	29.6%	+1.3ポイント	△0.9ポイント (97.0%)
	3期平均 H23~H27	35.0%	28.3%	△1.1ポイント	△6.7ポイント (80.9%)	
	2期平均 H20~H22	39.0%	29.4%	△7.3ポイント	△9.6ポイント (75.4%)	
	1期平均 H17~H19	—	36.7%	△3.8ポイント	—	
	H16(導入前)	—	40.5%	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、多数のイベントが延期又は中止となったため。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	各種アンケートの実施 ふくやま産業交流館 外部評価委員会	催事者 57件, 来館者 51件, 自主催事 481件 施設設置者, 利用者, 有識者で構成。(年2回)
	【主な意見】	【その対応状況】
	館東側の外灯設置が十分でない。 ホール内ネット環境が未整備である。	外灯ポールを1箇所, 県により増設した。 大展示場東西2箇所にネット環境を設置した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書
	日報(必要随時)	○ 必要時に, 随時電話(及びメール)で報告
連絡会議 月1回, 計12回	【指定管理者の意見】 「県民利用が想定される箇所の安全点検チェックシート」に基づき点検結果を県に提出。年末年始の休館日も含めて職員が巡回点検を随時行う事で, 利用者が安全で安心して利用できる環境を整えている。	
現地調査(随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し, 安全安心して利用できる環境を整備する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減						
	R1								
県委託料 (決算額)	4期	R1			料金 収入 (決算額)	4期	R1	99,423	△10,075
		H30	—	—			H30	109,498	△6,577
		H29	—	—			H29	116,075	△14,791
		H28	—	—			H28	130,866	14,578
	3期平均 H23～H27		—	△5,416		3期平均 H23～H27		116,288	8,969
	2期平均 H20～H22		5,416	5,416		2期平均 H20～H22		107,319	△34,894
	1期平均 H17～H19		—	—		1期平均 H17～H19		142,213	1,478
	H16 (導入前)		—	—		H16 (導入前)		140,735	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目	R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等		
委託事業	収入	県委託料	—	—		
		料金収入	99,423	109,498	△10,075	利用料金制(※1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イベントの延期又は中止による大幅減。
		その他収入	773	846	△73	
		計(A)	100,196	110,344	△10,148	
	支出	人件費	21,899	22,358	△459	働き方改革の推進に向けた時間外や公出勤業務削減。
		光熱水費	19,482	21,376	△1,894	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う施設利用減による光熱水使用料の減。
		設備等保守点検費	17,956	17,074	882	
		清掃・警備費等	23,813	24,016	△203	
		施設維持修繕費	4,033	6,167	△2,134	
		事務局費	4,996	4,825	171	
		その他	8,229	8,232	△3	
	計(B)	100,408	104,048	△3,640		
	収支①(A-B)	△212	6,296	△6,508		
	自主事業 (※2)	収入(C)	1,377	800	577	年2回(8,1月),利用促進を目的とした『ビッグ・ローズフェスタ』開催。
支出(D)		5,067	4,730	337		
収支②(C-D)		△3,690	△3,930	240		
合計収支(①+②)	△3,902	2,366	△6,268	固定納付金 8,000 千円		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を發揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<p>施設の利用促進を図るため、自主催事「ビッグ・ローズフェスタ」を年2回実施し、過去最高の約1万人の集客を達成した結果、施設のPR並びに小展示室利用に繋がった。</p> <p>企業によるレクレーション催事等の利用調整等、利用者ニーズの多様化に見合った対応や、ビジネス会員交流会等に参加し、異業種間での情報交換及び館のPRを積極的に行うことにより、利用促進を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて、手指消毒液の設置等、館内の衛生対策を行った。</p> <p>大規模修繕について、県に対して、利用者の安全確保を最優先とした提案を行った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症等の影響により、面積稼働率は前年度比減となったが、自主催事等を通じて、施設の知名度向上及び利用促進を図れた。</p> <p>施設の維持管理について、利用者に配慮し安全を確保した管理運営に取り組んだ。</p>
管理の人的物的基礎	<p>館の職員はすべて100%自社社員の配置を継続し、一致団結。「チームワーク」という面でも以前にも増して成長を成し遂げた。</p> <p>本社との情報共有、報連相を密に行い効率的な業務運営に努めた。</p> <p>電力需給先の見直しや省エネを徹底的に実施した。</p>	<p>管理運営の体制を整え、効率的な業務運営及び経費縮減に取り組んでいる。</p>
総括	<p>積極的な営業活動と自主催事による館のPR等により利用促進を図ったが、期末(3月)の新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、前年度に対しては売上、稼働率ともに減少した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き残ると想定されるが、現状では感染拡大防止に対する対応を最優先として県と連携を図りながら運営を進めていく。</p> <p>催事者アンケートでは概ね満足、やや満足というお声をいただいているが、今後も更に維持向上を図っていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、面積稼働率は目標を達成できなかったものの、県との連携により、利用者の安全安心を確保した適切な管理運営を行った。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和2年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県との調整を引き続き密に行い、顧客サービス向上を目的とした備品及び機器類の購入更新を図っていく。 ○ 年2回以上の自主催事「ビッグ・ローズフェスタ」を今後も継続することで、館のアピールを行うと共に、地元から更に愛される施設となるように努める。 ○ 利用料確保に向け、引き続き、訪問活動及び顧客への声掛け活動など、営業活動強化による利用促進、稼働率確保を図る。 ○ 利用者の安全確保と施設の長寿命化を図るため、施設・設備の日々の点検強化や修繕を適切に実施していく。 ○ 産業振興に資するという基本に加え、利用者のニーズに合わせ幅広い館の利用に対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、指定管理者と県とで連携し、拡大防止に向けた適切な運営を行っていく。 ○ 終息後は、県内産業の早期回復に向けて、産業会館の役割を果たすべく、県内製品の販路開拓・拡大の機会を積極的に提供していく。
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の知名度が上がるように継続的にPR活動等に取り組んでいく。 ○ 建築後19年が経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。安全性に係る箇所については、県と連携をとり修繕を進める。 ○ 新たな取組としてSDGsを会社として導入していることから、ビッグ・ローズでも「環境づくり」「人権」「品質管理」「まちづくり」について、考え取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者との連携により、施設の利用促進に向けたPR活動の実施や計画的かつ効果的な修繕を実施していく。

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立産業技術交流センター		
所在地	広島市中区千田町三丁目7番47号		
設置目的	県内産業の振興を図る		
施設・設備	研修室・会議室等(5室), 多目的ホール(318㎡), 一般来客者用有料駐車場(85台)等		
指定管理者	7期目	H29.4.1~R4.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	6期目	H26.4.1~H29.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	5期目	H25.4.1~H26.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	4期目	H24.4.1~H25.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H24.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	公益財団法人ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	財団法人ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	利用件数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	利用状況	7期	R1	7期平均 1,400件	1,254件	7件
H30			1,247件		△17件	△153件(89.1%)
H29			1,264件		△76件	△136件(90.3%)
6期平均 H26~H28			1,500件	1,340件	4件	△160件(89.3%)
5期 H25			1,500件	1,336件	33件	△164件(89.1%)
4期 H24			1,500件	1,303件	△65件	△197件(86.9%)
3期 H23			1,500件	1,368件	△67件	△132件(91.2%)
2期平均 H20~H22			1,500件	1,435件	295件	△65件(95.7%)
1期平均 H17~H19			—	1,140件	△55件	—
(導入前)		—	1,195件	—	—	
増減理由	例年と比較して2月の利用が多かったため、平成30年度を上回った。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	大口利用者等から改善要望等の聞き取り	当施設の利用回数・利用金額が多い団体
	【主な意見】	【その対応状況】
	研修室の音響設備・映像設備を最新のものにしてほしい。	アナログ式からデジタル式に機器等を更新した。映像を投射するスクリーンを室内前中央に増設した

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報	—	
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 ・利用者の要望を踏まえた施設・設備機器の更新・修繕 【指定管理者の意見】 ・利用者の利便性及び快適環境を保持するため、施設・設備機器の更新や修繕等について県と連携を取りながら実施していく。 【県の対応】 ・長期保全計画を基本に、施設の実態を踏まえた上で安全面や利用者に支障をきたすものを優先して修繕等を実施する。		
現地調査(随時)			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	R1	H30	H29	H28		R1	H30	H29	H28
県委託料 (決算額)	7期	R1	78,833	1,433	料金収入 (決算額)	7期	R1	54,119	△1,728
		H30	77,400	0			H30	55,847	△600
		H29	77,400	6,282			H29	56,447	2,023
	6期平均H26～H28	71,118	1,298	6期平均H26～H28		54,424	634		
	5期 H25	69,820	0	5期 H25		53,790	1,531		
	4期 H24	69,820	△1,700	4期 H24		52,259	△1,190		
	3期 H23	71,520	△80	3期 H23		53,449	△2,237		
	2期平均H20～H22	71,600	△5,096	2期平均H20～H22		55,686	5,389		
	1期平均H17～H19	76,696	△16,884	1期平均H17～H19		50,297	△4,521		
	(導入前)	93,580	—	(導入前)		54,818	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目	R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
収入	県委託料	78,833	77,400	1,433	消費税率改定
	料金収入	54,119	55,847	△1,728	利用料金制(※1) 大型施設の利用減少と新型コロナウイルスによる利用減少
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	132,952	133,247	△295	
支出	人件費	18,863	19,090	△227	職員給与の減
	光熱水費	29,935	30,911	△976	節減努力及び新型コロナウイルスによる利用減少
	設備等保守点検費	29,053	27,352	1,701	消費税の税率変更に伴う増加及び防火設備法定点検が新たに加わり増加
	清掃・警備費等	35,831	35,500	331	消費税の税率変更に伴う増加
	施設維持修繕費	10,219	11,460	△1,241	修繕件数は前年度より2件増加したが、修繕単価の小さいものが主であった
	事務局費	6,030	5,270	760	備品購入(更新)などで増加
	その他	2,825	3,681	△856	消耗品購入の減少
	計(B)	132,756	133,264	△508	
収支①(A-B)	196	△17	213		
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0	
	支出(D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合計収支(①+②)	196	△17	213		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>休館日利用のニーズが高いため, 積極的に臨時開館で対応した。 (今年度臨時開館率: 50.0%)</p> <p>業界団体や入居団体等の貸会場利用者の施設改善要望に迅速に対応するため, 計画的に附属設備の整備を実施した。</p> <p>利用促進を図るため産業関連諸団体に利用案内を行った。</p>	<p>施設サービス向上のため, 休館日の臨時開館や計画的な附属設備の更新等, 利用者の要望を踏まえた施設の管理を行っている。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>施設管理経験が豊富な職員を常駐させ, 管理運営や苦情処理など迅速に対応した。</p> <p>貸会場を管理するシステムのデータの活用を一層図るため, 受付業務全般を見直し, 事務処理の定型化を進めた。</p> <p>効率的な業務運用を行うため, 機器の更新を行い, 時間・労力の削減に努めた。</p>	<p>組織体制を確保し, 管理経費の節減を図った。</p>
総括		<p>利用者からサービスや施設・設備等に関する意見・要望等を聴取し, 可能な限り迅速に管理運営へ反映させることに引き続き注力した。</p>	<p>利用者の意見を積極的に聞き取り, 利用者目線に立った管理運営に取り組んでいる。</p>

8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染予防の観点や安心して快適な施設として利用いただくため, 衛生設備(手洗い, トイレ洋式化, 強制換気)を改善する。 ○ 貸会場について, 利用者のニーズに合致した最適なプランを提示して満足度の高い利用に繋げ, 継続利用等の促進を図る。 ○ 防火設備法定定期点検や自主点検を通じて, 施設機能の水準を維持するとともに, 不具合箇所の修繕や交換など, 最適な対応策を講じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは, 指定管理者と県とで連携し, 拡大防止に向けた適切な運営を行っている。 ○ 新型コロナウイルス感染症が終息後は, 利用件数の目標達成に向けて, 指定管理者と連携をし, 新規顧客の獲得や継続利用の促進を図っていく。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設備・機器等の維持保全のため, 電気設備, 空調設備, 防災設備のそれぞれについて, 劣化状況を把握して, 予防保全に重点を置いた修繕や更新を行う。 ○ 長期保全計画に基づいて県が行う大規模修繕工事と連携して, 優先順位に従った計画的な維持修繕に取り組む。 	<p>引き続き適切な施設・設備の点検を行うとともに, 指定管理者と連携し, 計画的な修繕を行っていく。</p>